

### 学期末考查中の子どもたち

4月の下旬から、Narayankul Dream Model High School(NDMHS)は定期考查期間に入りました。中でも子どもたちが特に頭を悩ませているのは、英語と数学です。苦しみながらも「なぜ？」と考え、悩みながら勉強に取り組む生徒たち。先生たちのサポートも借りながら、少しずつですが、確実に成長しております。



休み時間にも先生に質問をする生徒が  
こんなにたくさんいます



考查中  
皆日ごろの勉強の成果を発揮します

上左の写真の様子は、休み時間にも勉強に取り組む生徒たちの様子です。先生たちは授業の合間も生徒から引っ張りだこです。夢に向かい食欲に学ぶ生徒たちは教師、医者、弁護士、エンジニアなどの夢を持っています。「将来の夢があるから今頑張るんです。」そうひたむきな生徒たちのために、先生方も休み時間、放課後返上で寄り添います。

上右写真は考查中の生徒の様子です。考查時間は日本と比べると長く、3時間に及ぶ教科がほとんどです。考查形式は、選択式、記述式を合わせたものです。

英語の定期考查は記述式以外にも、スピーキング、リスニングを課しております。英語は「読める、書ける、話せる、聞ける」ことで初めて意味があると考えているからです。

授業では英会話の時間を多く持たせており、実際にコミュニケーションを図ることができるかを重要視しております。初めは、英語を話さなければならない環境に陥ると、生徒たちは窮しますが、その厳しい環境を乗り越えた先には、コミュニケーション能力を鍛える場があると考えております。

5月中旬で一学期も終わりますが、NDMHSが開校して一学期間よく勉強に励んできました。集中して考える生徒たちの顔は、本当に輝いております。

---

## 教員研修

今回の教員研修は午前が「良い習慣」について、午後は「指導理念」について行いました。

私たちは、生徒の自己実現に寄り添うためにどのような能力が必要なのか。そのためにどういったステップを踏み、レベルアップをしていかなければならないのか。また、生徒たちにどのような能力をつけさせたいのか。そのためにどのような指導をしていきたいのか。教員たちの理念を教科指導、生徒指導の観点から考える、有意義な研修を行うことができました。

---



研修を行う古澤校長(左は通訳)と熱心な教職員たち